



関係各位

一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会
理事長（技術委員会担当） 奥本 賢
競技会委員会 委員長 宮島 幾世
審判委員会 委員長 上杉 相良

公印
省略

競技規則の改正ならび和訳公開について（通知）

国際電動車椅子サッカー連盟（以下、「FIPFA」）から、2025年6月1日に競技規則の改正（以下、「競技規則 2025」）が公開されました（[リンク](#)）。

日本電動車椅子サッカー協会（以下、「JPFA」）にて翻訳を進め、以下の通り和訳を公開する運びとなりましたので、お知らせ致します。各都道府県協会においては、登録チーム、監督、コーチ、審判員等の関係者に周知徹底を図って頂き、電動車椅子サッカー競技に関わる関係者（特に、競技者、監督、コーチ、審判員）は、これらの改正を十分に理解した上で、競技、指導、レフェリングに取り組んで頂きますようお願い致します。

記

1 公開文書

- ・パワーチェアフットボール 競技規則（公式ルール・規則）
: Fédération Internationale de Powerchair Football Association, *Laws of the Game, Official Rules & Regulations* (Approved April 2025) の全文和訳。

2 公開方法

日本電動車椅子サッカー協会 公式ホームページ (<http://www.web-jpfa.jp/index.php>) に掲載。

3 適用開始日について

「競技規則 2025」は、競技会を主催する組織に応じて、以下の通り適用し、経過措置を設けるものとします。

主催	適用開始日
国際電動車椅子サッカー連盟	2025年6月1日（日） ※ FIPFA CLUB WORLD CUP より適用。
日本電動車椅子サッカー協会	2025年11月1日（土）
都道府県電動車椅子サッカー協会	最遅、2026年1月1日（木） ※ 競技会主催者が適用開始日を決定する。

（次ページへ続く）

4 「競技規則 2025」の主な改正点

「競技規則 2025」の主な改正ポイントは以下の通りです。すべての改正点を網羅するものではないため、競技規則 2025 を御精読ください。

- ・ 「フットガード」の呼称を「ガード」に変更。電動車椅子前方のガードのみを呼称する場合は、「フロントガード」とされました。
- ・ テクニカルエリアの終端を「ゴールライン」から「ゴールエリアの上端」に変更されました。
(審判員が、ゴールエリア付近の重要なプレーについて、より優れたポジションで判定できるようにスペースを確保するため)
- ・ 交代の要請は、試合停止前のインプレー中に行わなければならないことが明確化。
- ・ 交代の要請を主審が認めることの重要性が強調されました。
- ・ 交代が完了する条件として、交代する競技者がテクニカルエリア内で安全な位置につくことが加えられました。
(従来は、交代要員がフィールドに入ることのみが条件とされていました)
- ・ ガードの前方から 33cm 後方に、フェアなタックリングに関して正当なプレーエリアを示すためのマークを行うことが明確化されました。
- ・ キックオフ、フリーキック、キックイン、ゴールキック、コーナーキックでの再開時、規定の距離を守らず侵入した場合の罰則が強化されました。
- ・ セットボールをより安全に行うため、セットボール時のボールからの距離が短縮 (1m→30cm) されました。
- ・ セットボール時に、競技者が回転を行った時は間接フリーキックが与えられることとなりました。
- ・ ボールが 2 人以上の競技者の間で静止し続けた場合にボールアウトオブプレーとなる時間が変更 (3 秒→5 秒) となりました。
- ・ 従来、床から 50.8cm 以上ボールが上がったときは、常にボールアウトオブプレーとなっていました。危険な状況を引き起こす場合に限定されました。
(試合の停止のためのホイッスルやセットボースの回数が減らし、試合の流れをよくするため)
- ・ 従来、2 on 1 を避けるためにフィールドを離れる行為は、第 12 条「主審の承認を得ず、意図的にフィールドから離れる」としてイエローカードが提示されていますが、この行為が罰せられる条件が明確化されました (例：プレーの局面が変わる前にフィールドに復帰する、繰り返し行う、戦略的アドバンテージを得る)。
- ・ 従来、競技者または交代要員のみ懲戒措置が行われていましたが、チーム役員にも懲戒措置が取られるようになりました。
- ・ ペナルティーキック時にゴールキーパーが静止しなければならないことが明確化されるとともに、懲戒処置が定義されました。
(競技規則 2020 においても、FIPFA に確認の上、静止していなければならない趣旨で訳出しておりましたが、改めて明確となりました)
- ・ ペナルティーキックにおいてキッカーは 15 秒以内にボールを蹴らなければならなくなりました。
- ・ 異なるチームの 2 人の競技者がタッチラインに沿って同時に走っているとき、キックインが与えられるのはボールをプレーし続けようとしている外側に位置する競技者に対してであることが明確化されました。
- ・ コーナーキック時の相手競技者の位置について、ゴールエリアの内外のどちらに在るかにより条件が明確化されました。
(競技規則 2020 では不正確な規定となっていたため、FIPFA 確認の上で加えていた補足は削除しました)
- ・ PF2 競技クラス競技者を 3 名以上出場させたときの罰則がペナルティーキックから間接フリーキックに変更されるとともに、競技者とコーチが警告されることとなりました。

(次ページへ続く)

5 競技規則講習会について

審判会員を対象とした競技規則講習会を2025年8月中旬～9月中旬に開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席ください。

6 参考情報

- ・国際電動車椅子サッカー連盟 ホームページ - Laws of the Game
<https://fipfa.org/laws-of-the-game/>

7 その他（問合せ先等）

本通知文書について、会長名を協会未発表のため、理事長が発出しています。
なお、「競技規則2025」に関する問い合わせは以下までお願い致します。

一般社団法人 日本電動車椅子サッカー協会 審判委員会
メール：jpfa.referee.committee@gmail.com

以 上